# A427□胞

300111

A427□胞は肺組織、特に癌腫に由来し、上皮形態を示し、接着性に増殖する。 A427□胞は、10%ウシ胎児血清（FBS）添加RPMI1640培地では約28時間で倍加する。ACL-3培地では、倍加時間は38時間とやや延長され、ウシ血清アルブミン（BSA）を添加したACL-3では42時間に達する。このような倍加時間の変化から、異なる実験条件下での□胞の挙動に関する貴重な知見が得られる。

継代60で、A427□胞は低3倍体から超3倍体の核型を示す。これは、□胞が二分体、分数体、大きなサブテロセントリックマーカーを含む異常染色体を持つことを意味する。このような核型の異常はしばしば癌□胞と関連しており、この□胞株のユニークな特徴の一因となっている。 A427□胞は腫瘍形成性を示し、ヌードマウスに注入すると腫瘍を形成する。

これらの腫瘍は未分化の腺癌に似ており、肺癌とその進行の研究におけるこの □胞株の関連性をさらに強調している。 A427□胞はその卓越した特徴から、様々な用途、特に癌研究に有用である。その上皮形態と肺由来であることから、肺がんおよび関連疾患の研究に理想的なモデルとなる。さらに、 A427□胞は3次元□胞培養技術に適しており、肺がん□胞の挙動を調べるためにより生理学的に適切な環境を提供する。

## 概要

□明

A427□胞は肺組織、特に癌腫に由来し、上皮形態を示し、接着性に増殖する。 A427□胞は、10%ウシ胎児血清（FBS）添加RPMI1640培地では約28時間で倍加する。ACL-3培地では、倍加時間は38時間とやや延長され、ウシ血清アルブミン（BSA）を添加したACL-3では42時間に達する。このような倍加時間の変化から、異なる実験条件下での□胞の挙動に関する貴重な知見が得られる。

継代60で、A427□胞は低3倍体から超3倍体の核型を示す。これは、□胞が二分体、分数体、大きなサブテロセントリックマーカーを含む異常染色体を持つことを意味する。このような核型の異常はしばしば癌□胞と関連しており、この□胞株のユニークな特徴の一因となっている。 A427□胞は腫瘍形成性を示し、ヌードマウスに注入すると腫瘍を形成する。

これらの腫瘍は未分化の腺癌に似ており、肺癌とその進行の研究におけるこの □胞株の関連性をさらに強調している。 A427□胞はその卓越した特徴から、様々な用途、特に癌研究に有用である。その上皮形態と肺由来であることから、肺がんおよび関連疾患の研究に理想的なモデルとなる。さらに、 A427□胞は3次元□胞培養技術に適しており、肺がん□胞の挙動を調べるためにより生理学的に適切な環境を提供する。

| | |
|---|---|
| ティッシュ | 肺 |
| 病気 | 癌腫 |

同義語

- A-427
- A427N

## 分類

| | |
|---|---|
| 生物 | 人間 |
| セックス | 男性 |
| 成長特性 | アドヘレント |
| バイオセーフティレベル | 1 |

## 特徴

| | |
|---|---|
| 形態学 | 上皮様 |
| 腫瘍形成性 | はい、ヌードマウスで。腺癌を示唆する未分化な腫瘍を形成する。 |

核型

P60) 二中心、分、大きなサブテロセントリックマーカーを含む異常を伴う低三倍体から倍数体。

## 識別子

引用

A427 (Cytion カタログ番号 300111)

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

| | |
|---|---|
| **NCBI** 納税者番号 | 9606 |
| セロサウルス | CVCL_1055 |

## 発現と感受性

タンパク質の発現

P53陽性

## 取り扱いと飼育

培地

EMEM（MEM Eagle）、w：2 mM L-グルタミン、w：2.2 g/L NaHCO3 ′ w：EBSS（Cytion論文番号820100a）

| | |
|---|---|
| 培養雰囲気 | 37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。 |

サプリメント

培地に10% FBSと1% NEAAを添加する。

| | |
|---|---|
| 解離試薬 | アキュターゼ |

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ′ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ′ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、 □胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、 □胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

| | |
|---|---|
| 播種密度 | 1×10⁴□胞/cm²では、3日以内にコンフルエントな単層が形成される。 |
| 流体の更新 | 週2～3回 |
| 解凍後の回復 | 解凍後、□胞を4×10⁴□胞/cm²で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも 24時間以上行う。 |

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

## 品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

| | |
|---|---|
| 凍結培地 | 凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。 |

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

## 寄付者

| | |
|---|---|
| ドナーの年齢 | 52年 |
| 民族 | 白人 |

## 法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

| | |
|---|---|
| 物質移転契約書の締結が必要 | Yes |

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB